

北九州市 官民連携による港湾緑地等の利活用に向けたサウンディング調査 提案書受付は来年2月12日（金）まで

北九州市港湾空港局は港湾施設や緑地などの利活用を推進するため、門司港レトロ地区をはじめ、市内19箇所を対象とした「官民連携による港湾緑地等の利活用に向けたサウンディング調査」の実施要領を公表した。

本調査は、令和7年度に実施したみなと緑地PPPの活用を他の港湾緑地へ展開させることに加え、老朽化した既存上屋の跡地利用の将来構想も提案対象。制度上の制約にとらわれず、事業用定期借地権による長期貸付や用地の売却による民間開発など、市場のニーズに即した柔軟な事業手法を幅広く検討する方針で、民間事業者から提案を募ることで市場の動向を正確に把握し、今後の具体的な公募条件の策定や公有財産の有効な利活用策を検討するための重要な基礎資料とすることを目的とする。

参加申込及び提案書受付は令和8年10月13日（火）～令和9年2月12日（金）まで。個別対話は、参加申し込み後個別に随時実施予定としている。

実施要領

